

令和元年度 事業報告

1 事業の概要

平成から令和への節目を意気揚々と迎えた春、2020 オリンピック・パラリンピックの開催へと未来への期待が深まるばかりの夏、そして、秋には台風の直撃を受け4日間に渡る事務所の停電という試練を受けました。そのような環境であっても皆が助け合いお互いを励まし人とのつながりが何より必要だと感じ、新たな新年を希望に満ちて迎えていた冬の終わりに、新型コロナウイルス感染症が突如として発生し、人との接触を断つことで各々の健康を守ろうという今までとは反対の発想が強まってきました。

事業形態の変化に合わせ、介護予防・日常生活支援総合事業や派遣就業を積極的に取り入れると同時に、新たな分野として子育て支援対策にも取り組みを始めました。また、地域の回覧板を利用した会員募集の案内や新聞折り込みチラシを2回配布し新規会員の入会促進に役立てました。また、就業は何らかの事情でできないが、シルバーとは関わってみたい会員を対象にプラチナ会員制度を発足し、就業はできなくともシルバーの各種事業には引き続き参加することのできる会員システムを導入しました。このような事業活動が功を奏し、最大月末会員数は446人にまで達しました。

しかし、就業面においては、順調に成長する派遣就業とは反対に、請負就業については、気候の変動や台風の影響を受けて、残念ながら過年度最高であった前年度の実績に及ぶ事は叶いませんでした。ただ、台風の被災者支援の就業では、多くの会員の皆さんが「困っている人を助けよう」と急な呼びかけにも関わらず応じてもらえ、予定通りに就業を終了することができました。地域社会への貢献とともに、市民の皆さんに「まちの便利屋さん」としてのシルバーの力を発揮することができました。

新たな就業分野として、平成30年度に開設した介護予防・日常生活支援総合事業ヘルパーステーションシルバーすみれも、2年目にして3件の就業先を獲得することができ、地域の高齢者福祉の一端を担う役割を推進しました。

安全面では、安全委員会が中心となり初めての「安全大会」を開催し、安全劇を通して安全に対する心構えをわかりやすく表現しました。併せて、優良安全者に対する表彰も行いました。この様子は、千葉日報に掲載され広く

安全委員会の活動を広報することができました。しかしながら、このような活動をもってしても事故の削減につなげることができず、今後の課題を残すことになりました。

独自事業活動もリーダーを中心に、活発に事業展開を進めることができました。台風の影響で、いきいきクラブの農作物も被害にあい大きなダメージを受けましたが、サツマイモは多くの皆さんに購入をいただき大変好評なうちに完売となりました。相次ぐイベントの開催中止の中であっても、すみれサークルの物品も会員の皆さんの豊かなアイデアからリピーター購入者が増え窓口販売の実績も上がってきました。特にすみれサークルには、コロナウイルス感染症の予防として必要なマスクの入手困難な状況を受け、手作り布マスクの作成を急遽行い、市からの要望に応じることができました。

また、11月末には全国女性代表者会議を山武市で開催し、全国から25センターの女性代表者が出席し、2日間に渡り全国シルバー人材センター事業協会の今野事務局長を講師としてお迎えして開催され、無事に終了することができました。参加者の皆さんに、山武市の台風被害状況も確認してもらう機会にもなり、改めて台風被害の窮状を理解してもらうことができました。こちらの会議の様子も千葉日報に掲載され、多くの皆さんの目に届くことになりました。

このように、この山武市シルバーの活発な事業活動を広く広報する機会も度々あり、多くの市民の皆さんに周知をできる機会を得たことで、会員数の増加につなげることができました。会員の平均年齢が上昇を続ける中でプラチナ会員制度の導入を行い、定年の無いシルバーを目指す足掛かりを作ることができました。

大きな変動に見舞われた令和元年度ではありましたが、この山武市シルバー人材センターは、多様性を求められる状況下においても組織として柔軟に対応し、地域の皆さまの信頼に応えるべく積極的な事業展開を行ってきました。

そこで、この1年の事業実績を次のとおり報告します。

会 員 数 正 会 員 4 0 2 人

(男性 2 6 6 人・女性 1 3 6 人)

特別会員 1 人

賛助会員 2 団体・ 7 人

事 業 実 績

	受託事業	派遣事業
受注件数	3, 1 8 5 件	1 9 件
契約金額	1 億 9, 7 6 9 万円	9 1 4 万円
就業延人日	3 8, 8 4 2 人日	1, 8 9 7 人日
就業実人員	4 0 1 人	4 2 人
就業率	9 9. 8 %	
事故報告	傷害事故 3 件 物損事故 4 件	

確認は 安全作業の まず一歩

2 事業の報告

(1) 会員数の増加

新聞折込チラシや、就業開拓員によるポスティング及び公共施設等へのパンフレット等の設置を行い、設立当初に並ぶ80人が入会説明会へ参加し、うち76人の入会があり、この入会率も非常に高く会員数を増やすことができた。

また、退会抑制としてプラチナ会員制度の導入も行い、8人の会員が移行し、就業はできないが各種事業に参加することで、会員交流活動ができる整備体制を実施した。

昨年に引き続き、きらきらシルバーフェア開催時に成東地区での出張入会説明会を行い、市民1人が参加した。

きらきらシルバーフェアでは、来場者への記念品としてフラワーマグネットをプレゼントし、多くの市民の皆さんに会員の作成した様々な作品を鑑賞していただくことができ、就業とは違う一面を披露することで、広報宣伝活動の効果を発揮することができた。

【会員状況報告】

	成東	山武	松尾	蓮沼
入会	28	35	9	4
退会	23	22	11	4
会員数	175	135	68	24

【入会説明会参加者報告】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
参加者	4人	5人	3人	22人	13人	4人
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加者	9人	4人	1人	5人	7人	3人

【プラチナ会員】

8人（男性3人 女性5人）

【きらきらシルバーフェア開催報告】

開催期間： 10月29日から11月1日

開催場所： 成東中央公民館

開催内容： 会員作品展覧会、サロン活動、出張入会説明会

(2) 安全就業の徹底

安全委員会が中心となり、安全周知啓発活動を積極的に実施した。

総会後の安全大会では、他の会員のお手本となる3人の安全優良者と1団体を表彰し、日ごろの安全活動に敬意を表する機会を得た。その後の安全劇では、委員による「マサカの出来事」を、交通事故・熱中症の2つの事例を用いて演じ、来場者にマサカの時の備えの大切さを伝えることができた。この様子は、千葉日報にも掲載され山武市シルバー安全委員会活動を周知することができた。

草刈・植木の技能講習会では、職群班長が中心となり技術面における安全性の向上を伝えた。運転適性検査では、センターが指定をした会員9人が筆記による適性検査、6人が筆記による適性検査と実車講習で運転操作について検査を受け、安全に運転ができるよう実施した。また、派遣就業での運転業務の年齢制限を受け、請負業務における運転業務についても同様に見直しの実施について協議を行った。

安全就業先パトロールについても随時行い、安全に作業ができていないかを確認し、問題点等があった場合には注意し指導を行った。

安全だよりを年3回発行し、事故報告や事故に対する注意喚起を定期的に実施し、必要な情報を会員へ周知した。

このように安全就業に関しては安全委員会が中心となり、会員に対して必要な安全教育を実施したが、残念ながら傷害事故が3件と物損事故の4件が発生した。事故の検証と再発防止については安全委員会で協議し、同じ事故を起こさないよう努めた。

【安全講習会】

草刈講習会：3地区で開催 植木講習会：2地区で開催

運転適性検査：松尾教習所による筆記適性検査と実技（運転実技）
山武安全協会による筆記適性検査

【安全就業先パトロール】

市内17カ所 役職員により実施

【安全だより】

5月、9月、1月に発行

【事故報告】

	傷害事故	物損事故
事故件数	3件	4件

(3) 適正就業の推進

適正就業については、役職員による就業先の確認や、契約前の自主点検を行い、適正なる就業の拡大に努めた。

また、12月には全シ協による適正就業の集合指導もあり、契約内容や就業形態について指導を受けた。見直しが必要な就業については、個別に対応し適正な就業へと発注者に理解を得てもらえるよう説明を行った。その結果、3件につき新規に派遣就業へと導くことができた。

派遣就業については、派遣としての就業がふさわしい工場内作業や室内清掃について新たな就業先を獲得し進出することができた。

【派遣就業報告】

就業内容	受注件数	就業延人数
運転業務（人・物運搬）	8件	14人
草刈・植木・運転業務	6件	3人
工場内作業	2件	8人
室内清掃	1件	7人
厨房手伝い	1件	2人
遊具の管理	1件	10人

【有料職業紹介】 実績なし

(4) 就業機会の確保

高齢者にふさわしい就業機会の提供のため、就業開拓員による新規就業の開拓や既存事業者へのアフターサービスを定期的に実施した。

併せて、役職員による既存事業所への訪問を行い、継続事業の依頼やシルバー事業の紹介等を行った。

また、会員の就業に役立ててもらえるよう、スキルアップの講習会を開催した。清掃講習会については、ビルメンテナンスのプロによる家庭清掃での洗剤の使い方や汚れの落とし方について、丁寧に教えてもらうことができた。

令和2年度に向けた就業代金の改定につき、職群班長等からの意見も取り入れながら業務係による打ち合わせを数回実施し、理事会での決定につなげることができた。新単価の説明は、役職員による顧客への訪問や郵送による案内等で周知し理解を得るよう努めた。

【就業開拓員活動報告】

就業開拓員	2名	就業日数	75日
-------	----	------	-----

【技能講習会】

	清掃講習会	接遇講習会
月 日	令和元年8月22日	令和2年2月13日
場 所	松尾 IT 保健福祉センター	松尾 IT 保健福祉センター
講 師	三栄メンテナンス酒井氏	山武市シルバー
内 容	家庭内清掃について 講習と実技	接遇とは 講習
参加者	会員・市民28人	会員10人

(5) 地域社会への貢献

例年通り、各地区におけるボランティア活動を多くの会員の協力を持って実施することができ、関係者の皆さんから喜ばれ参加者も達成感があり有益な活動ができた。

介護予防・日常生活支援総合事業は、2年目にして初めての就業機会となり、3件につき定期的に会員が訪問し室内清掃等を実施した。

子育て支援事業への取り組みとして、千葉県シルバー連合会より「ベビーシッター育成講習会」を7日間に渡り開催し、11人が参加しうち9人が受講終了することができた。

【ボランティア活動報告】

	蓮沼地区	成東地区	山武地区	松尾地区
月 日	5月24日	5月31日	6月4日	6月11日
場 所	蓮沼交流センター	しらはたこども園	山武福祉作業所他	松尾中学校
内 容	草取草刈	植木草刈草取	植木草刈草取	草取
参加者	16人	37人	43人	25人

【介護予防・日常生活支援総合事業】 受注実績 3件

令和1年8月～令和2年1月、令和2年1月～、令和2年3月～

(6) 会員間交流の活性

女性部会にあたっては、各種様々な事業の協力を得ることができ、事業の開催に際し貢献してもらったことができた。全国女性代表者会議の開催時には、昼食の準備等を協力してもらい参加者の皆さんに女性部会の活動様子を披露することができた。また、女性会員を対象とした茶話会を開催し、女性会員が運動・脳トレ・おしゃべりと楽しむことができた。

効率的な就業活動を営むために、職群班長が班員及び発注者との調整

を実施してもらうことができた。軽作業班については、新たに1班が加わり会員による自主的な活動の助長につなげることができた。

地域班長は、各種事業の案内等の配布だけでなく、地域ごとのボランティア活動や新型コロナウイルス感染症の関係で残念ながら成東地区のみでしか開催できなかったが地域班懇談会も班長協力のもと実施できた。

独自事業活動は、6年目となるすみれサークル活動が、物品の販売の種類も増えリピーター客も増加し、会員の作成意欲の向上にもつながった。また、年度末には市からの要請を受け、手作り布マスクを作成し予定通りの枚数を納入することができた。

いきいきクラブの活動は、天候に左右され特に落花生については大きなダメージを受け収穫につなげることができなかった。しかし、サツマイモは大好評で窓口販売のみで完売となり、多くの人に味わってもらう事ができた。

職群班長・地域班長・すみれサークルリーダー・いきいきクラブリーダー、これらの人たちのリーダーシップの発揮によって、事業活動を円滑に実施することができた。

【職群班活動】

植木班（2地区6班）、草刈（3地区6班）、軽作業13班

班員のとりまとめ、発注者・事務局との連絡調整等

【地域班活動】

成東（3地区9班）、山武（1地区6班）、松尾蓮沼（2地区6班）

配布物6回お届け、ボランティア活動及び地区班懇談会の協力

【独自事業活動報告】

	すみれサークル	いきいきクラブ
就業実人員	15人	35人
就業人日	209人日	228人日
収入実績	164,700円	250,760円
活動内容	手差し、ちりめんフラワー、手提げ袋、布マスク、タオルワンちゃん・ニット帽子等作成と販売	ジャガイモ、サツマイモ、落花生の栽培及び収穫と販売

(7) 関係機関との連携強化

市役所担当部署とは、関係者による打ち合わせを適宜行い、必要な助言等を得て組織運営に役立てることができた。役職員による、市長をはじめとした関係者への定期的な訪問も実施した。

また、関係団体での会議等にも積極的に参加し、組織間の交流を保ち情報の共有等に努めた。

会長は、社会福祉協議会が事務局を務める「やさしいおもいで支えあおう会」に定期的に参加し、高齢者福祉の一助をシルバーで担うべく活動を実施した。

事務局長は、千葉県シルバー人材センター連合会の安全就業推進員として、定期的な会議に参加し必要な情報を安全委員会へ提供した。このことから、安全委員長が千葉県シルバー人材センター連合会主催の「シルバーフェア in もりしあ」に会員発表者として参加した。

全国シルバー人材センター事業協会で開催する、2日間の中堅職員研修会に経理主任が参加し、中堅職員としてなすべき資質につき見識を高めてきた。

近隣センターとも、就業単価の改定や組織運営等について必要に応じ連絡を取り情報共有に努めた。

(8) 組織体制の整備

組織として、会長及び副会長と全職員による業務定例会議を毎月開催し、情報の共有や相談すべき項目について協議を行った。特に、秋の台風や新型コロナウイルスの対応等に関しては、必要に応じ開催し、臨機応変に組織として対応できるよう努めた。その為、業務量の増加にもつながったことから業務処理の効率化を改めて再考し、業務体制の最適化につなげられるよう努めた。

3年に一度の千葉労働局・千葉県雇用労働課・千葉県シルバー人材センター連合会による定期立入検査を受け、組織運営等について必要なアドバイスを得た。

何よりも法令順守を重んじ、見直すべき点は見直し、新たに取り入れなくてはならない事項に関しては積極的に取り組む姿勢で、事業運営基盤の強化に努めた。